

無断転載禁止

土木技術者女性の会

輪人

2007年総会特集号

土木技術者女性の会

<会の目的>

1. 土木界で働く女性技術者同士のはげましあい。
2. 土木界で働く女性技術者同士の知識の向上。
3. 女性にとって魅力ある、働きやすい土木界の環境作り。
4. 女性土木技術者の社会的評価の向上。
5. 土木技術者をめざす女性へのアドバイス。

<倫理規程>

会員は、会の目的を実現する際にあたって、下記の倫理規程を遵守するものとする。

1. 会員は、会の目的に沿って、各々の良識のもとに、正しく品位ある行動をする。
2. 会員は、所属組織を代表するものではなく個人の立場で会の活動に参加する。
3. 会員は、会の活動において、業務上の利益に結びつけるいかなる行動も行わない。

目 次

巻頭言

～未来を想う～（関西地区世話役 三好 葉子） 1
------------------------	---------

第 26 回土木技術者女性の会 総会

総会概要 2
☆今年、京都に行ってきました（会長 佐藤 厚子） 3
第 26 回土木技術者女性の会総会 議事要旨（関西地区 大植 敦子・上林 恭子） 4
見学会実施報告～「100万人の市民現場見学会」としての試み～（関西地区 古谷 祥恵） 10
総会参加でリフレッシュ（中部地区 足立 美津江） 13
総会デビュー！！（関西地区 梶間 千晶） 14
現場見学、総会に参加して（関東地区 竹之内 綾子） 15
シールドトンネルを見学して（関西地区 佐々木 恵美） 16

地区活動レポート

中部地区：見学会（セントレア他）（中部地区 小畑 敏子） 18
関西地区：下水道須磨浦幹線見学会＋懇親会（関西地区 村上 育子） 20
関東地区：見学会・勉強会（近代土木遺産の見学会とワイナリー巡り）（関東地区 箱田 裕子） 21
北海道地区：勉強会＋忘年会（北海道地区 木村 美奈子） 23
関西地区：狭山池ダム他見学会＋新年会（関西地区 三好 葉子・牛山 育子） 24
関東地区：女子学生との交流会及び講演会（関東地区 今村 麻希） 26
交換会に参加された女子学生からのメッセージ 1（首都大学東京 小川 由布子） 27
交換会に参加された女子学生からのメッセージ 2（首都大学東京 石塚 喜望） 28
関東地区：土木現場見学会（関東地区 高橋 恵子） 29
関西地区：現場見学会報告（関西地区 古谷 祥恵） 22
岐阜大学進路就職説明会に参加して（中部地区世話役 小畑 敏子） 32

コラム 使って便利、私の家事の工夫

私の相棒（中部地区 中西 利美） 17
圧力鍋に夢中！（関西地区 上林 恭子） 19
夕食は朝作る（関東地区 大橋 幸子） 30

新役員紹介

事務局長 笹尾 圭哉子 9
北海道地区世話役 中山 真貴子 17
会計監査 天野 玲子 22
会計監査 山本 美子 30
事務局スタッフ 龍 尊子 32

事務局便り

事務局メンバーの主な業務の紹介 32
-----------------	----------

～ 未来を想う ～

関西地区世話役 三好 葉子

娘が中学二年になり、進路のことを考える機会が増えてきた。

学校紹介を眺めているとカタログショッピングをしているようでとても楽しい。今はまだ「制服が可愛い～」とか「食堂のメニューが充実してる」とかでこの学校はアカン、ここはエエな…と、お気楽なことだ。地下鉄沿線・大阪市内在住であるため交通の便も非常に良い我が家からは、入れる入れないは別として「通学可能な高校」はいったい何校あるのか見当もつかない。最近は私学・公立を問わず学科の種類が本当に多くなり、スポーツ健康科学科、資源動物科、環境緑化科、デザインシステム科、福祉ボランティア科…などなどなど…実に興味をそそられる。皆こんな中からどうやって自分の行く高校を決めてゆくのだろう…。学校からの指導は、中学生であるうちから将来就きたい仕事を念頭において、多種多様な学科が選択できることを活用するよう勧めている。だがしかし、現実にはまだまだ娘本人には将来のヴィジョンは見えて来ないし……そうだよなあ、自分だって中学生の頃はとりあえず入れる高校に入る、くらいのことしか考えていなかったよなあ…田舎だったからせいぜい4校くらいの中からだったし…選択肢が多いのもかえって大変だなあ……と、あまりの果てしなさに、ただ、ぼーっとしてしまうだけの日々である。

自分の進路決定から就職までの歩みをたどってみると、根本は屈折した性格に行き当たる。非常にデキの良い姉がおり、常に「〇〇さんの妹」としての中学校生活を送った私は、ばりばり文系の姉への反発から、とにかく文系には行くまい、違う道を進もう…と頑なに決心し、あえて不得意な理系に進んだ。だが、案の定成績はがた落ち……。まあ、ダメだったら受験までに文系に編入しようか…などと甲斐性なくふらふらと考えていたが、いざその先の進路を考え始める段になると、大学紹介の何を見ても文系学科がピンとこない。…都市計画、住環境、河川環境、雪氷……自分の興味が湧く、好きなことに近づいていきたい、との思いをここで明確に持つことができ、開発工学科に入学した。そして就職「超」氷河期の中、零細企業ではあるが建設コンサルタント会社に就職し、フリーとなった今日も、学んできたことと同じ、「好きな仕事」の中に身をおいての幸せな生活を続けている。

職場で身近に接している派遣社員の女性たちにとっては、私が二十年以上勤め上げてきている「好きな仕事」であっても「スキルアップ」のひとつの段階にすぎない。その価値観に出会ったときには非常に焦りを感じた。現実問題として、若い彼女たちのような身軽さは、残念ながら、もう、私にはないと思っていた。だが、娘の未来を想うとき…自分だったら…と、実はまだ欲が残っているのを感じた。未来を想うことは、本当は、純粋に楽しいのである。

女性の会でも学生会員のシステムができ、彼女たちと共に未来を想うことが始まる。本当に楽しいことだと思う。この会の未来も、まだまだ大きな拡がりを持っている可能性が感じられ、今後がますます楽しみになってきた。

第26回土木技術者女性の会総会

平成 19 年度総会を関西地区にて開催しました。
6 月 22 日金曜日に京都高速現場見学会及び懇親会を行い、
翌 23 日に京都駅前の「ばるるプラザ京都」にて総会を実施しました。

－ 開催日時 －

2007 年 6 月 22 日（金）14:00 ～ 23 日（土）12:00

－ 現場見学会 －

阪神高速道路京都高速 伏見工区トンネル工事（その2）
（「100 万人の市民現場見学会」として土工協と共催）

－ 懇 親 会 －

ばるるプラザ京都

－ 総 会 －

ばるるプラザ京都



☆今年も、京都に行ってきました☆

会 長 佐藤 厚子

いつもは、見学会からの総会参加ですが、今回は懇親会からの参加でした。昨年は会計検査がきても、私は関係ないからといって休みを取れたのですが、なぜか去年は、私の仕事のことが聞かれてしまい、みんなとっても苦労したので、今年は、休んではいけないといわれていました。会計検査がこないことだけ願っていました。めでたく今年も会計検査がこないこととなり、楽しみにしながら、早々と総会の申し込みをし費用を支払い、飛行機も関西の方たちから綿密に移動時間を聞いて、絶対間に合うよう万全の用意をしていました。ところが、ところが、ところが、今年の転勤者の代理の仕事が急に入り、あえなく見学会に参加できませんでした。今まで、総会に参加したときは見学会だけではなくずっと参加してきたのに・・・とっても残念でなりませんでした。

寂しい気持ちを背負いながら、懇親会から参加しました。とってもおいしい料理とおいしいお酒をいただきながら、おいしいお話をしているうちに懇親会からだけでも参加できてうれしい気持ちになりました。席はくじ引きで2つのテーブルに分かれてたのですが、なぜか2つのテーブルで、平均年齢がとっても違ったように思いました。ここでの情報交換はとても有意義でした。中でも、2週間後に名古屋に行く私にとって、ご当地でおいしいランチをいただくことができるお店&観光情報はありがたかったです。

1年ぶりの懐かしい笑顔との会話で、ますます元気になりました。富士山の登山、伊東温泉でのご寝など、今までの総会の話にも花が咲きました。楽しい宴の終わりは関西風の3・3・7拍子でしめられ、地域の特徴を感じました。その後の二次会、ホテルでの三次会とフィーバー（かなり表現が古い？）していく参加者でした・・・



総会は、地元のおいしいお菓子と世話役おすすめ&プレゼントのおせんべいで始まりました。おいしいお茶といただくお菓子に幸せを感じているうちに総会はどんどん進んでいきました。総会自体は少し早めに終わり、少しだけあった時間で、会員の皆様の現状が紹介され、これが総会の良いところだな～と思ったひとときでした。



京都白川路せんべい（世話役からのプレゼント）

—おまけ—

総会のあと、総会のまとめをするために役員会があったのですが、その前に、時間のある人で昼ご飯を食べに行きました。あこがれの京都タワーです。食事なので、ただで京都タワーに昇ってしまいました。お茶の人は、景色の良い窓側を利用できるのですが、お食事の人たちは内側の景色のあまり見えない場所でした。でも、窓の外にはすばらしい青空と京都市内の街並みを見ながら席に着き、レストランからのながめは最高でした。ここでもリッチな気分になるランチをいただき、つくづく総会は良いものと思いました。



来年の北海道も楽しみです。

第 26 回土木技術者女性の会総会 議事要旨

関西地区 大植 敦子・上林 恭子

今回総会のトピックス

学生会員の新設
 広報企画 WG による会の目的の再検討
 平成 19 年度会計より、正式に複式帳簿へ移行
 総会補助費の考え方を役員会で再整理

- 参加者 25 名、委任状 42 名の計 67 名：会員 137 名中 1/10 以上により総会成立
- 佐藤厚子会長より挨拶
- 日本技術士会より会長表彰を受けられた中西氏（中部地区）より挨拶



平成 18 年度活動報告

項目	報告者	概要
役員会報告	島村	・ 前回総会後の役員会、今回総会前役員会の報告
事務局報告	佐藤 (亜紀子)	・ 6 月 22 日現在 会員数 137 名 新入会員 北海道 1 名、関東 5 名、中部 1 名、関西 4 名 退会会員 北海道 1 名、関東 1 名、中部 4 名、関西 2 名 ・ 平成 16 年からの会費未納者 8 名が除名 ・ 会費の郵便貯金自動払い込み 40 名と少ないため、ご協力をお願いします。
地区活動報告		
北海道地区	河合	・ 地区総会 ・ 勉強会&忘年会・・・会員が講師を受け持ち
関東地区	北原	・ 地区総会（見学会・分科会・総会） ・ 勉強会 ・ 女子学生との交流会及び講演会・・・毎年開催
中部地区	小畑	・ 見学会 ・ 岐阜大学進路就職ガイダンス ・ 新年会
関西地区	三好	・ 見学会・懇親会（3 回） ・ 総会準備会（2 回）
「輪」編集・発行報告	中村	・ 平成 18 年度は 2 回発行 ・ 原稿依頼から受取までが時間がかかり気味
「Civil Engineer への扉」販売報告	金坂	・ 読売新聞に掲載後、販売部数が増加した。 ・ 個人・学生への販売は、メール等により連絡を受けている状態
ワーキング活動報告		
坑内労働規制緩和 WG	佐藤 (亜紀子)	・ 労基法第 64 条の 2 項改正の動きについて取りまとめ、「土木施工」で報告 ・ 岐阜大学進路就職ガイダンスにて坑内労働規制緩和の動きについて説明 ・ 法改正は行われたが、現場の認識不足がある ・ 今後は啓蒙活動、女性技術者からの相談窓口として活動
ホームページ運用 WG	岩本	・ 日常的な更新作業
広報企画 WG	須田	・ 会の目的を再検討し、会の対外的活動の方向性を検討するため発足 女子学生の職業選択・就職支援に重点を置いた広報企画（短期的観点） 会の再構築を視野に置いたシナリオ案の検討（中長期的観点） ・ 学生会員の新設提案 ・ 「Civil Engineer への扉」の生協販売 ・ 鹿島出版会との出版企画 ・ 内閣府チャレンジキャンペーンへの共催団体登録 ・ 再構築シナリオ案の検討
平成 18 年度 決算・監査報告	渡辺	・ 前年度決算報告 ・ 会費未収金：平成 18 年度は約 19 万円

(1) 活動方針（案）、学生会員の新設及び会則の変更について

- 活動方針（案）について佐藤厚子会長より説明。
- 学生会員の新設（総会資料 P.45 ～）及び会則の変更について佐藤（亜紀子）氏より説明。

《質疑応答》

◆学生会員の新設について

- ・ 学生に対して紹介する際の、会の具体的な説明（メリットなど）を明文化してほしい。（HPに出ているような抽象的な会の目的ではなく）
→ HP についてはホームページ WG で検討する方向。会の具体的な説明に関しては、会の方向性にも関わることであり、今後、広報企画 WG で議論を行い設定する。
- ・ メールによる情報配信のみとなっているが、メールアドレスを持っていない学生に対してはどのように考えているのか？
→ 事務局の負担が大きいと対応が困難なため、現状で事務局が対応可能な方法のみに限定している。現在も、ウェブからの問い合わせが多く、また、中学生でも、親御さんからの問い合わせや学校での授業もあり、それに対応するために中学生まで対象としている。メールのみということについては、今後社会環境からもメール環境が広がっていくことを前提にしている。
- ・ 積極的に会を PR した方が良いのか？
→ 積極的に PR をして欲しい。今回承認が得られれば、全会員にメーリングリストにて会の PR を依頼予定。
- ・ 社会人学生についても、学生会員とするのか？
→ 現正会員が学生（社会人学生）の場合、申請すれば学生会員にもなり得る（自己申告制）が、議決権はないことに注意。
- ・ 中学生から入って大学卒業まで通して会費は一回か？学生終了時の確認方法は？
→ 中学から入っても、高校、大学と本人から継続の申請として学生証のコピーが送付されている場合は、会費も 1 回のみで継続。事務局の手間を極力抑える。まだどれぐらい申し込みがあるかわからない中、運用はまた随時対応していきたいと考えている。

◆会則の改定案について

- ・ (第十三条) 地区世話役補佐が各一名となっているが、その理由は？（関西地区は現状二名である）
→ “一名以上”に変更（現状に即して変更）。
- ・ (第五条) 既納の会費はいかなる理由があっても返還しないとあるが、会の解散時にはどうするのか？
→ 途中退会の場合に会費返還の問い合わせが多々あったため、この項目を追加している。複数年の会費を一度に納入している方についての対応も難しいため。（事務局の効率化のため）
- ・ (第十二条) 下から 3 行目及び下から 2 行目の“出席会員”は“出席正会員”の誤りでは？
→ “総会の議事は出席正会員の過半数をもって決し、・・・”“議決権の行使は他の出席正会員に委任・・・”に変更。



(2) 役員案

- 平成 19 年度役員・会計監査案について須田氏より説明。

(3) 役員会・事務局活動計画

- 役員会・事務局活動計画について島村氏より説明。

(4) 地区活動計画

項目	報告者	活動計画及び修正事項
北海道地区	佐藤 (厚子)	<ul style="list-style-type: none"> ・地区総会（既に終了） 資料中の総会日時を 2005 年→2007 年に訂正 ・勉強会 ・見学会
関東地区	北原	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会及び見学会：東京電力（既に終了）
中部地区	小畑	<ul style="list-style-type: none"> ・見学会 ・新年会 ・地区活動の活性化
関西地区	三好	<ul style="list-style-type: none"> ・地区活動の活性化 ・総会準備会（既に終了） ・総会・総会現場見学会運営（既に終了） ・見学会、勉強会 ・新年会 ・地区メーリングリスト再起動

(5) 「輪」編集計画

- 「輪」編集計画について中村氏より説明
 - ・総会特集号を先に発行する予定（9月30日発行予定）。
 - ・原稿は、受取後、再度編集ソフトにて編集しているため、テキストでの提出が Better。
 - ・2007年総会特集号：7月末までに原稿回収を目標。ご協力お願いします。
 - ・リレーエッセイ：会創設からお話。毎回2名程度ずつを予定。今回は寺本氏、天野氏のお願いする予定。
 - ・内輪版については、テーマは未定。
 - ・編集委員のコミュニケーションの活性化のため、今年から編集委員のメーリングリスト立ち上げ。依頼から原稿回収までの流れを整理していく。
 - ・原稿は、書式などを提示した依頼書を作成し、依頼する。依頼書が届いた方はよろしくお願いします。

(6) ワーキング活動計画

項目	発表者	特記事項・質疑応答等
坑内労働規制緩和 WG	佐藤 (亜紀子)	<ul style="list-style-type: none"> ・法改正以降の状況の変化について、坑内で働く女性をフォローしていく予定。 ・活動予算 8万円→3万円に修正（交通費として） ・坑内労働をしている女性の情報が少ないため、そういった情報があれば提供してほしい
ホームページ運用 WG	岩本	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区の見学会等の開催予定のお知らせについて、HPに掲載してほしい場合は？ →掲載までのフローについては今のところ未定。取り急ぎのものについてはWGリーダー岩本氏に連絡を。 ・一般の方へのアナウンスをわかりやすくしてほしい。 →優先順位としては、まず会員ページの充実を図る予定。一般公開して良いものについて選定し、検討して行きたい。見学会の報告等があれば提供をお願いしたい。 ・見学会に来ていた学生より、参加できなかった友人にも情報を分けてあげたいという声があった。そのような場合に、HPで情報発信をしていくと効果的なのでは。 ・「輪」の中から抜粋版を一般にHP上で公開する考え（「輪」編集委員より）。 ・既存のH18年分の見学会・勉強会など活動概要を、7月見直しの際に掲載する考え。関係者に文面チェックをお願いする予定。
広報企画 WG	須田	<ul style="list-style-type: none"> ・女子学生の就職支援、会の再構築シナリオについて検討していく。 ・就職支援として「Civil Engineer への扉」販売に力を入れたい。そのためメンバー増強を行う（各大学の生協への対応者をメンバーとしている）。 ・「Civil Engineer への扉」大学生協販売について・・・各大学10冊程度を予定 ・活動予算 2万円→3万円に変更 ・資料 P.42(3) 再構築シナリオの検討について修正“発足から20年以上が経過し、会の活動の目的を明確にして・・・”とする。

(7) 平成 19 年度予算計画

●平成 19 年度予算計画について渡辺氏より説明

- ・支出が収入を上回っている赤字予算は健全では無いが、支出は削減できないので運用準備金からの繰入で今年度は状況を見ていく方向。

●河合氏より複式帳簿についての説明あり。

- ・総会場で複式帳簿を回覧。
- ・毎年約 20 万円の会費の未回収が発生している。
- ・平成 17 年度は約 50 万円の赤字が発生している。
- ・平成 18 年は助成金（東京ウィメンズプラザ）により黒字となっている。
- ・今年度から正式に複式帳簿へ移行する（帳簿管理費として外注費年間 3 万円）。

《質疑応答》

◆総会補助費について

【今回総会について】

- ・今回関西地区では 3 万円の補助では厳しい状況。総会会場費でほぼなくなる。会場の下見等の総会準備費や、見学会関係者への手土産も含めると 3 万円では困難（今回見学会の保険については土工協負担）。
- ・京都は観光都市なので、今回便利な所に会場設定をしたのも費用が高くなった原因。
- ・今回の総会については飲物代 500 円 / 人のみ徴収、会場費は補助費からとした。
- ・今回は総会の補助費の使用 방법이周知されていなかったことからこのような事態になった。今回の 3 万円をオーバーした原因としては、スタート時点で 3 万円ありきという認識であったため。

【総会関連の費用の考え方：総会補助費用の使用方法について】

- ・当初は総会費用に関しては総会出席者で全て負担する「受益者（出席者）負担」であったが、費用予測が困難であり、想定以上の出費に対する予備費として総会補助費ができた。北海道でもその考え方で総会会費は徴収している。
- ・見学会・懇親会については「受益者負担」の考えだが、総会に関しては「受益者負担」はどうか？会全体に関する方針を決定する場なのに「受益者負担」なのか？総会参加は会員の義務であるので、総会費用については本会計（総会補助費）とするべきでは？
- ・委任状を提出している人も総会には参加しているのであり、総会は委任状を出した人も含めて総会参加者全員で負担をするべき。
- ・地方で総会をする場合はどうしても赤字になるため、今までは地区の貯蓄金を投入している状況であったが、今年から貯蓄金は本会計に返還することとしており、やりくりが困難。職場の協力についても、現在、非常に厳しい状況である。そのあたりも勘案して総会補助費の考え方について役員会で討議し、ルールをつくるべき。
- ・地方での負担を考えた上で、総会補助費の考え方について、きっちりとしたルールを作って欲しい。
- ・見学会下見等の準備、手土産について受益者負担とするか、地区の活動費で賄うのかが不明。総会の準備にかかる費用は地区活動とするのであれば、総会担当の年には、地区活動費を上乗せしてもらえないか？
- ・総会費用（準備費？）を地区で負担ということであれば、地区活動費も少ない状況の中なかで、総会以後の地区活動費が 0 円という状況にもなりかねない。

【結論】

- ・今回については、総会補助費として 3 万円以上となることも了承。但し、出費の内容については役員会で精査する。
- ・総会補助費の考え方を役員会で再整理し、案を提示する。

◆「Civil Engineer への扉」について

- ・「Civil Engineer への扉」増刷は？
→今年度は不要（在庫で対応可能）。今後急にはける場合はその時に対応していく。活動に支障が出てくるとい段階で役員会に諮り対応していく。
- ・「Civil Engineer への扉」についてはこれから学

◆地区活動費について

- ・地区活動費は学生会員が増えても反映されないのか？

生会員に対してPRを進めていく中で、大学の生協などに積極的に販売促進をかける必要があるのか？

→大学への販促は事務局で対応はできないので、われこそはという方はメンバーに参加して活動していただきたい。

→地区活動費は正会員のみ計上する（学生会員は地区分けしない）。

次回・次々回総会について

- 第 27 回総会：北海道地区で開催。2008 年 6 月の 3 or 4 週目の金曜日午後～土曜日午前の予定。
- 第 28 回総会：中部地区が立候補。

フリーディスカッション

●今年の新会員、総会に初参加の方などの自己紹介、総会の感想など

- ・長年の課題が一足飛びには解決しないという、土木の世界の難しさを感じた。
- ・毎回皆さんのエネルギーあふれる姿を見て、勇気もらっている。入社した際に「Civil Engineer への扉」を貰い参考になったため、多くの人に参考にしてもらえたらと思う。
- ・土木関係に就職する際に、女性の会の皆さんの話を聞いた。今後は後輩たちに紹介をしていきたい。
- ・現在育児休業中。仕事から離れている時に、久しぶりに総会に参加でき、とても刺激になりよかった。仕事、育児の両立についていろいろ教えてもらいたいと思う。

●仕事・育児の両立について（経験者より）

- ・子どもは 3 人。職場（役所）で土木職として初めての女性職員であり、後に入った土木職の女性職員のためにも結婚、出産をして仕事を続けているのは良かったといわれる。産休・育休（10 ヶ月程度）も取れた。家では祖父母の協力が大きい。育児休業中の職場での代替要員については、要求しているが、実際は配置されない。どうしても人が足りないところやお金があるところにはアルバイトの対応をしている場合もあったが、私自身の代替要員はいなかった。
- ・（民間ゼネコン）新入社員が少なく、最近、産休・育休を取ったという方は少ない。最近（産休・育休に限らず）人員が減っても社員の増強は少ない。派遣社員などで対応が多い。復帰した方が元の部署に戻ることが原則であるが、本人の希望に関係なく配置転換される場合もある。子どもは 2 人とも小学生の高学年なので、非常に楽になった。子どもから貰えるエネルギーもたくさんあるので、子どもが小さい方はもうしばらく頑張ってもらいたいと思う。

●今回の総会に関して（関西地区会員より）

- ・今回総会の手伝いの話を聞いた時には、会員に何を求められているのかが想像ができず困った。学生会員については、学生の生の声が耳に入っていないし、現場見学会で直接話をしても何を求めているのかが伝わってこない。大学の先生に聞いても、ビジョンを持っていない学生が多いとのこと。学生が求めるのは、就職についてのメリットかと考えるが、この会のメリットとしては仕事の説明はできても就職先の斡旋はできない。会のビジョンを明確にすることで、学生に会のメリットを説明できると思うので、WGの検討の結果を聞いて

今後学生への活動を行う。学生にこの会の存在を広めること、学生の要求を知ったうえでそれにこたえることが今後の課題。

- ・今回、見学会で土工協を通じたことにより役割分担の把握ができず、手間取った。また、今回見学会の段取りをする中で全体を通じて、「女性の会という組織の説明が難しい」「会の代表（連絡先）を何処にするのかなどが整理できていない」と感じた。今後これらをクリアして行けば、土工協を活用した見学会はメリットがあると思う。

閉会

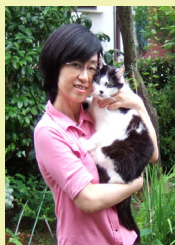
●関西地区世話役三好氏より挨拶にて閉会



新役員紹介

一緒に楽しく

事務局長 笹尾 圭哉子



事務局長という柄にもない役割に就くこととなりました。会の最大の目的は何か、どうすれば魅力的な会になるのか、会の舵取り、運営方法に最も腐心してきたのがその時々事務局長だったと思います。前事務局長の須田さんのもと、事務処理の効率化が一挙に進み、外向けの情報発信も少しずつ広がっています。ここ数年間のこうした実績は、本会が大きく成長した証しでもあり、事務局の努力の賜だと思います。

自分にできことといえば、やはり亀の甲より年の功で役に立ちたいと思っています。細かい作業は最近苦手になりつつありますが、大まかなことを決めたりアイデアを出したり一緒に楽しく遊んだりは大得意です。この会がこれからますます活発で楽しい会になり、土木業界で働く女性の拠り所となるよう、そして次代の担い手に橋渡しができるよう、緑の下の力持ちで精一杯頑張ります。

見学会実施報告

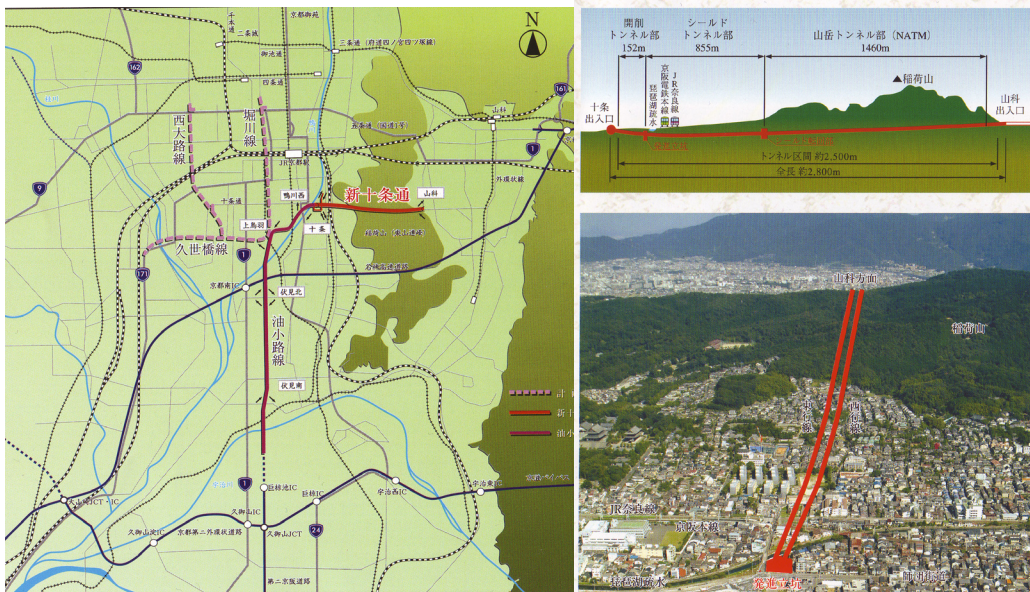
～「100万人の市民現場見学会」としての試み～

関西地区 古谷 祥恵

今回の総会见学会は「100万人の市民現場見学会」としての実施で初めての試みでした。
初めに今回多大なるご協力を賜った財団法人日本土木工業協会及び阪神高速道路株式会社
並びに大林・佐藤・西武JVにこの場を借りて心から御礼を申し上げます。
以下、総会见学会準備担当として報告します。

見学会概要

- 発注者 : 阪神高速道路株式会社
- 事業概要 : 京都高速道路
- 工事名 : 伏見工区トンネル工事
- 工事概要 : 京都市道高速道路1号線新十条通(京都市山科区～伏見区)のシールド区間
(京都高速 WEB <http://www.kyoto.hanshin-exp.co.jp/index.html> 参照)
延長 855 m×2 (上下線) シールド工 φ 10.82 m (泥水式)
近接施工 琵琶湖疎水、京阪電鉄、JR奈良線



京都市道高速道路1号線<新十条通>伏見工区トンネル工事パンフレット(阪神高速道路株式会社)より

施工 : 大林・佐藤・西武建設工事共同企業体

見学協力 : 財団法人日本土木工業協会(本部)広報部

「100万人の市民現場見学会」として実施

準備期間（地区活動）

地区世話役三好さんは、昨年交代直後から関西地区での総会を見据え地区活動の活性化を第一に取り組んでこられました。前年より多く見学会を実施したことで地区

会員の交流機会が増え、総会準備に向け基礎体力が増加しました。

開催地・現場検討

参加者を一人でも多くしたい、また他地区の会員にとっても、活動から遠ざかっている関西地区会員にとっても「参加したい」と思えるような総会に、と開催地を京都にする案が出ました。会で実施される見学会の多くは会員の紹介によるものだと思います。依頼のしやすさより、会員から紹介があって実施に至るものが大半では

ないでしょうか。今回は、社団法人日本土木工業協会（以下、土工協）が実施している「100万人の市民現場見学会」（後述）の利用も視野に入れ「できる現場」に「行きたい現場」を加えて検討した結果、伏見工区が候補となり土工協に依頼しました。

◆現場選定のポイント◆

- ・事業に特徴はあるか（大型プロジェクト等）
- ・特殊工法・大規模・近接施工といった特異性があるか
- ・開催時期の工事の進捗状況（見どころ・安全性）
- ・交通手段はどうか
（主要駅→現場最寄駅→現場、現場→懇親会・総会会場の移動も含む）
- ・見学者の受け入れ体制は整っているか

◆関西地区プロジェクト紹介◆

関西国際空港 2期空港島	関西国際空港(株) 関西国際空港用地造成(株)	8月2日開港予定
第二名神高速道路	西日本高速(株)	全線6車線の高速道路 見学には交通の便がかなり悪い
第二京阪道路 (大阪北道路)	西日本高速(株)と国土交通省の 合併施工方式	国道1号線バイパス 見学には交通の便が悪い
夢洲トンネル	国土交通省（港湾）	夢洲側の主要工区はほぼ完了 沈埋函は製作済み
京都市営地下鉄	京都市交通局	工事はほぼ完了 H20.1 開通予定
大阪市営地下鉄	大阪市交通局	H18.12 開通
中之島新線	中之島高速鉄道(株) (京阪電鉄)	京阪淀屋橋駅から中之島地区へ延伸部 開削部分は躯体仕上げか？
西大阪延伸線	西大阪高速鉄道(株) (阪神電鉄)	近鉄・難波～阪神・西九条を結ぶ 土留完了、シールド発進準備あたりか？

◆100万人の市民現場見学会◆

土工協の広報活動で、一般の方に現場を開放し見学会を通じて社会資本整備の一端を担う我々土木の仕事に対する理解を深めてもらうことが目的。誰でも申し込みが可能。（<http://www.dokokyo.or.jp/genba/index.html> 参照）平成14年11月から見学者100万人を目標に開始し3年後の平成17年10月に目標達成。現在も継続中。土工協には各種委員会活動があり各社が参加しているので、見学希望先へ土工協から委員を通じて対応してもらえます。当日の保険に加え、交通手段を確保してもらえる場合もあります。

依頼から当日まで

元上司が「100万人」開始当時の委員だったので、娘の通う学童保育所の児童を引率して参加した経験があります。勝手知ったる「100万人」(!?) のつもりが、思いの他手間取ったのは何だったのか？ 関西支部ではなく土工協本部に依頼したことが一因ですが、既に目標人数に達した「100万人」の活動が支部で確認できなかったためです。

もう一つの理由は、依頼にあたって女性の会が説明し辛かったことです。会のHPの紹介をしましたが、HPでは連絡先が明確でないため、会の概要・連絡先・会員の状況がわかるものを添付した代表者による依頼文の作成を求められました。事務手続きとしては当然のことで

すが、いざ書面で提出となると、会員手作りの会だけに「代表者→社長、所在地、連絡先→代表電話」とは行かず、私の判断だけでは処理できなくなりました。振り返ってみると、常識的判断で整理できるものが大半だったと思いますが、まだ実施そのものが不確定なまま事務局や会長など多くの人の手と時間を消費する焦りからバタバタし、発注者側への依頼が後手になるというミスがありました。土工協から実施可の連絡を受けた際、発注者も承諾済との思い込みが原因です。実際に発注者へ正式な依頼が通ってないことがわかり、冷や汗ものでした。(対阪神高速㈱の不幸は全て私です)

その他（他社現場ゆえ・・・）

交通手段と現場付近の状況は、休日に三好さんが確認してくださいました。阪神高速㈱のHPから現地の情報も入手できました。また工事規模から見学者が多いことは容易に推測できたので、現場の対応に不安はなくわざわざ下見に行く必要はなかったと思います。忙しい現場に時間を取っていただくのは心苦しいことでしたが、会員を迎えるという立場から下見を希望しました。自社施工の現場なら事情もわかった上で行けますし、下見まで

もなく電話のやり取りで済む場合もあるでしょう。

その他、細かいところですが参加人数が依頼時予定人数より大幅減では申し訳なく調整に神経を使いました。私の場合、市内の自社施工中の現場に行く用があり上司が勤務中に出してくれましたが、多くの方は平日勤務中に時間をとることが困難だと思います。現場とのやり取りを考えると会員の紹介のほうが利点は多いです。



おわりに

地方での総会開催時の課題は、今後もあると思われます。今回、関西地区での「100万人」利用の試みは、人手やコネがないなりでの総会実施の一例を示せたものと思っております。今後の地方総会開催時の参考になれば

幸いです。ご協力いただいた会長、事務局、並びに地区世話役三好さん他関西地区の皆様にご感謝し終わりの言葉といたします。

総会参加でリフレッシュ

中部地区 足立 美津江

総会に参加するのは今回で2回目、出産後初めての総会でした。参加の動機は、子供と離れて自分一人の時間が欲しい、これなら主人も了解してくれるはず・・・といった不純なものでした。みなさんすみません。以前トンネルの積算担当をしていたため現場見学も行きたかったのですが、まだ卒乳をしていない息子をおいての宿泊はできずに断念。中部地区世話役の小畑さんより現場のパンフレットと写真を見せていただき、1年ぶりに土木の現場に触れた気分になりました。

総会へは浜松から始発の新幹線に乗って行きました。主人と子供が駅まで送ってくれたのですが、子供は眠いのか静かにしているのと対照的に夫は不安げな顔をしていました。

私は約1年ぶりに一人になる解放感から少々浮かれていました。新幹線では、のんびり雑誌を読み1時間以上早く京都に着いた私は、時間のつぶし方が分からず2度目の朝食を食べたのでした。

会場の席につき、資料を読んでいるとなぜか涙がこみ上げてきました。解放感と別に仕事に関わる場が好きなのだ・・・等々いろいろな思いが入り混じり涙となって現れたのだと思います。誰にも気づかれぬよう涙をこらえました。会が始まると涙は吹っ飛びました。

会での主だった話は学生会員の新設、総会運用費の使い方、広報の仕方についてでした。育児休業中他人と意見を交わすということがほとんど無かったため、その場にいるだけで刺激になりました。話し合いの展開が早く今自分がいかにのんびりしているかを思い知らされました。また、話し合いをしている最中は結論を早く出すために、二者択一になってしまいがちですが、一歩ひい

てみるとよい意見がでるといことも分かりました。以前現場見学へ行った際、学生へこの会に入会するとどうい特典があるのか説明ができなかった経験があります。よい説明方法がありましたらぜひ教えていただきたいです。

質疑応答のとき、初めての地方総会出席ということでコメントを求められました。かなり緊張をしていて、手足が震えてしまいました。今育児を一人でやっていて育児と仕事の両立は難しいのかということ語り、その後多くの方々から助言をいただくことができました。同じような経験をされてきた方の言葉は励みになります。ありがとうございました。

総会后、みなさんと京都タワーで食事をし、帰る時間の間中西さんと南禅寺まで観光に行きました。ベビーカーを押さず、前を気にせず歩けるのは1年ぶりです。昨日の雨とはうって変わって晴天。日頃の行いがよいせいかしら？南禅寺の山門に登りました。梅雨明け間近のさわやかな風が体をつつみ、とても気持ちがよかったです。育児中でもこういった自分の時間を持つことは大切ですね。帰りの新幹線で中西さんといろいろとお話し助言していただきました。ありがとうございました。

この総会では、この1年間得られなかった経験や会話をさせていただき、またリフレッシュすることができました。帰宅後、夫に私のいなかった子供の様子を聞くとほとんど泣かなかったとのこと。しかし、帰ってきた私の顔を見た瞬間息子は号泣していました。小さいなりに普段一緒にいることのない父親に気を使っていたのかなと思うと、かわいそうだと感じる反面情緒面でも成長をしているのだなと感じました。

今回の総会は北海道。私は職場復帰をし、息子は2歳になっています。ぜひ息子を連れて北海道へ行けたらよいなと考えています



総会デビュー！！

関西地区 梶間 千晶

大阪府都市整備部の梶間と申します。昨年度入会し、今回、見学会・懇親会・総会・そして「輪」への投稿に晴れてフルコースデビュー！先輩の皆様、どうぞよろしくをお願いします。・・・とくれば、社会人1年目のピチピチギャル（死語！？）をご想像されるかもしれませんが、ご勘弁を。社会人13年目、年齢32歳、二人の子持ちです。いやいや、なぜこの時期になって入会したのか、もちろん、今まで会の存在を知らなかったわけでは決してありません。色々考えたのですが、やっぱり、すこ～しの余裕ができてきたせいでしょうか。結婚式の祝辞のようですが、「人」という字はお互いに支えあって成り立つのです！という人との繋がり、人との出会いを大切にしたいと思うようになりました。今回、初めて参加しましたが、会のメンバーの間には、そんな“つながってる感”がひしひしと伝わってきました。遠路はるばる関西へ飛んで来られた方、まだまだちっちゃいお子さんを残して来られた方、東京ばな奈のお土産や京都銘菓でのおもてなし、この会は“あったかさ”で成り立ってるんだなと感じました。

それではいよいよ本題へ。まずは見学会。京都高速伏見工区トンネル工事を見学させていただきました。後で聞くと、この見学会を行うために世話役の方々が大変なご苦勞をされたとのこと。ありがとうございました。現場は久々に見る規模の大きさに感激。大掛かりな換気設備などの仮設の充実ぶりにも模範的な大規模工事であることが窺えました。それでも、光の入らない、轟音の鳴り響くこのトンネル空間で一日中働き続けることの大変さ。専業主婦の奥さんに、「旦那さん、こんな頑張ってるんで」と教えてあげたい。やっぱり土木は現場力。このおっちゃん達には勝たれへんと思いました。

約1km歩いて、切羽の先端部へ。「見学者はここでストップ」と必死で抑える担当の方にじわじわにじみ寄る我々女性陣。泥水の雫を浴びながらホントの“先端部”見学をさせていただいて満足満足。

見学会の最後は換気所を利用した工事情報館へ。住宅街の下をシールドマシンが進んでいるので、現在の掘進場所を航空写真上に示しているのは、地元住民には興味深いだろうなと思いました。大先輩の正木さんが貫通石

の質問をされたのをきっかけに急遽貫通石の入ったおまもりの即売会が開設。意外に皆さん買っておられて実はちょっとびっくり。

夕刻からは懇親会。総会の中で、これがメインではないことは重々承知です。が、やっぱりこれが一番楽しかった！バリバリ仕事をされている方ばかりなので、とても魅力的で話の上手な方が多くて本当に楽しめました。“ちょっぴりアルコールの力を借りて盛り上がる”これって、土木オヤジ的だなぁと思いつつ、やっぱりこれがなくっちゃ！



皆さん、真剣！

翌日の総会では、皆さん、二日酔い、寝不足などを全く感じさせず、ぴりりとして様々な議論がなされていました。全体を通しての感想は、これだけパワフル・スペシャル・ワンダフルな方々が集っても課題解決には手探り状態で、一足飛びに解決しないんだなということです。やはり、人の輪を広げること、より多くの人に主体的に参加・活動してもらうことの難しさって大きいんだなと。仕事でも私生活でも同じように思うことが多々あります。多くの方が何かしたいけど、どうすればいいかわからない、みんなで盛り上がるのはいいけど、一人でテンパっちゃうのは恥ずかしいと思ってるんじゃないかと思うんです。個々の難しい課題があるけど、まずは会の存在を広く知ってもらって、より多くの女性技術者が問題意識を共有し、自分自身の問題として考えることが大切じゃないかな。会は“偉いさん密度”が高くなりすぎて、少々敷居が高い感じだけど、そうじゃないよって宣伝しなきゃ。よし、これなら私でもできるかも！この気持ちを忘れず皆さんの中に混ぜていきたいな。どうぞよろしくをお願いします。



東京ばな奈と京都銘菓！

現場見学、総会に参加して

関東地区 竹之内 綾子

京都での見学会、総会へ参加しました。

現場見学は京都高速新十条通のシールドトンネル部 855 mの伏見工事トンネル工事を見学させて頂きました。工事は2本の平行したトンネルを作るのに、西行きトンネルから掘り進み、すでに施工済みのトンネルに貫通後、回転させ、今度は隣の東行きトンネルを施工しながらもとの発進立坑に戻るといったものでした。私たちも開削トンネル部を出発し、立坑部、シールドマシンが回転した場所を通り、東行きの切羽まで約1 kmを歩き、実際にセグメントを組み立てているところも間近で見させて頂きました。この工事では、土砂と岩盤両方を一台で掘削するため、土層が変わるところでシールドマシンのカッターを交換したということでした。また発進部はわずか4.8 mの低土盛りであったり、琵琶湖疎水の直下を離隔4.4 mで通過したり、2本の鉄道の営業線の下を通過するなど、条件の厳しい工事で、周辺の計測も数多く行われているとのことでした。



私は入社以来設計部に配属されて4年目、数ヶ月前に始めてシールドトンネルに関わる業務に携わったところでした。当時は図面や資料を見てもわからない言葉だらけだったのが、少しシールドトンネルに慣れた今回の見学では、図面上で見たものたちの実際の姿を自分の目で確かめるような気持ちで歩いていました。

設計部で経験の浅い私には、自分で設計し、自分が図面に書いているのに、実物は見たことがなく、いまいち理解しきれない、ということがよくあります。

実物を見れば、ああ、こういうことだったんだ、と簡単に分かることも多いため、現場で実物を見学できることはとても貴重な機会です。今後もこのような見学会に積極的に参加していきたいと思います。

見学会後の懇親会、総会では、女性の会に参加するといつもそうなのですが、先輩方の迫力に圧倒されます。本当にこんなエネルギーな方々の集まりはほかでは見ることのできないものだと思います。会の昔話や、現在の仕事の話、家族の話、どれをとっても活気に満ち溢れたお話ばかりでとても刺激になります。

総会の中では、土木を志す女子学生たちがどんな情報を求めている、会は何ができるのか、という話が出ていました。私も就職活動中に「Civil Engineerへの扉」を読み、土木の世界へ就職することを後押ししてもらった経験があります。この会が土木へ進もうか悩んでいる学生への手助けができ、私も、今はまだ目の前の仕事や自分のことで一杯一杯ですが、少しでもその活動に参加できればと思います。見学会には学生の参加者も大勢いたようでした。今後、見学会だけでなく、懇親会、総会にも若い世代の方がもっとたくさん参加するようになればいいな、と思いました。



シールドトンネルを見学して

関西地区 佐々木 恵美

今回見学させて頂いたのは、京都高速新十条通のトンネル工事でした。京都高速は、第二京阪などの広域幹線道路と市内の各地域とがスムーズに連絡され、京都市内中心部への通過交通を減少させることを目的に計画されました。新十条通は、稲荷山を東西にトンネルで横断して結ぶ全長 2.8km の自動車専用道路で、そのうち 2.5km が東行きと西行きの 2 つのトンネル構造になっています。西側 152m 区間は開削工法、東側の 1460 m 区間は NATM 工法により施工が完了しており、その間の 855 m 区間をシールド工法で施工しています。

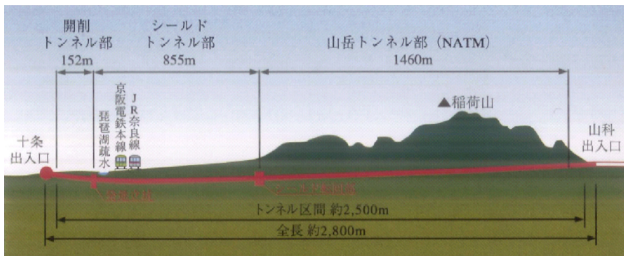


図-1 新十条通施工区間

この区間は、地上部に住宅が密集し河川や鉄道が横断しているのので、地盤への影響が少なく、騒音・振動の少ないシールド工法が採用されました。現在、シールドマシンは立坑から発進し、1 本目のトンネルを貫通後転回部で折り返し、2 本目のトンネルを施工中でした。今回はこのシールド工法の区間を見学させて頂きました。

トンネル内に入ると $\phi 10.82$ m シールドマシンを採用しているだけあり、とても広く、大きく感じました。また、とてもきれいにされている現場だという印象を受けました。

少し奥に歩いて行くと、14t/秒の水が流れている河川の直下の場所に着きました。河川との離隔が 4.4 m ほどしかなく、また河川の傍には鉄道も横断しており、とくに変位に気をつけて慎重に施工されたとのことでした。

シールド転回部 (図-2 参照) では、NATM 工法で既に施工済みの東側のトンネルとの貫通時に、泥水が施工済みのトンネルの方に流れ出さないよう、東側からエア

モルタルを吹き付けておいた後掘削し、見事 1 本目のトンネルが貫通したそうです。



図-2 シールドマシン転回部

2 本目のトンネルを掘削中のシールドマシンの切羽まで歩いて行くと、セグメントを組み立てていました。この現場で採用しているセグメントはボルトがいらないので、組立時間が 1 リング 25 分ほどで済むそうです。

シールドトンネルを見学した後、現場敷地内にある一般の方向けの工事情報館に行きました。そこには、現在シールドマシンが掘削している位置を示す地図がありました。また、トンネル内でどのような工事をしているのかわかるように、トンネル内のリアルタイムの映像が見られるようになっていました。民家の下をシールドマシンが通過するので、周辺の住民の方への配慮が感じられました。

私は現場に行く機会が少ないので、とても貴重な体験になりました。特にこの現場は周辺環境などに配慮し、様々な工夫がされていたように感じました。以前にシールドトンネルを見学したことがありましたが、同じトンネル工事で同じ工法を採用していても、それぞれの現場で違うことを知りました。今後もたくさんの現場を見て行きたいと思いました。

また、今回の見学会には私の学生の友人も参加させて頂きました。土木を専攻している学生でも、実際に現場を見学しに行く機会は極めて少ないようです。学生の方にも見学会に参加して頂き、土木の業界で活躍する女性が増えることを期待したいです。

新役員紹介

ご挨拶

北海道地区世話役 中山 真貴子

北海道地区の世話役を、勢いだけでお引き受けしてしまいました。
ただ今は7月25日夜10時、この10年間で初めて過ごす自宅での一人きりの夜に、このご挨拶を書いています。家にいると世話の焼けるうちの子供たちは今日から夏休みに入り、単身赴任先の父親の所へ行ってくれたので、一晩だけのんびりしています。

6月に職場の異動があり、小学生二人を連れて引越し、車で5分の楽々通勤から、55kmの距離を都会の渋滞10分、高速道路15分、田舎道35分の通勤にやっと慣れてきたところですよ。朝はぼたぼた、帰ってぐったりの日々でパソコンを開けるのは2週間ぶり、ああ原稿依頼に気が付いて良かった。毎週メール開けますね～と地区総会でお約束したのに、このような有様で済みません。将来も理想も頭に上らず、気になるのは職場の提出物の期限と明日のご飯のメニューのみの私ではありますが、どうぞよろしくお祈りします。



使って便利、私の家事の工夫

私の相棒

中部地区 中西 利美

数十年働き詰めの人生を振り返る機会を与えていただいたことに感謝します。

久々に、私の相棒（夫は道具ではないのでここでは省きます。）として、色々な道具が私を助けてくれました。また、便利な道具を探し、買い求め、使うことが私のストレス発散にも一役買いました。保育園の送り迎え時は、子供のサイズに合うものがなく、真似して不細工だけど自分で作ったりもしました。

今回紹介するのは、レトルトがあまり好きでない我が家で、夕食を如何に早く調理できるかが課題です。ここで、新潟の燕三条で考案された無水鍋のセット（ツイングリラー）、24cm角型と18cmの丸型、鉄板が厚く、焦げ付き防止が施されており、食材を休みのときに小口に冷凍していたものを解凍することなく、直接鍋に入れて調理できますし、油なしでも調理ができます。油は、それ自体の香りを味わうために少し使うだけでメタボリックシンドロームにも効果があります。午後10時頃帰宅して夕食を作る者にとっ



ては、強い見方で、こねくり回さなくても素材の味が楽しめますし、お鍋の後片付けも簡単に済みます。これで時間短縮を図り、今日中に夕食を食べ終わることが可能となります。（帰宅時間がさらに遅くなった時は、鍋に入れてもう一度加熱して食べます。夫や子供でもできます。）

食事が済んで、次の日の帰りが深夜とか、にわか雨が予想された日は、入浴後、洗濯をして室内に干すのですが、タイガー除湿機にお世話になっています。嫌な臭いも付かず、衣類の生地を傷めることがないので助かっています。この除湿機を知る前は、エアコン+扇風機で行っていました。エネ

ルギー損失が高いのでお財布にも、環境にも負荷をかけていました。今は、黄砂や花粉時期にも強い見方です。

これらは、私の相棒の一つに過ぎませんが、時間短縮とやらぬ心配をしないで済みます。これからも、便利グッズの掘り起こしや、使いかたの工夫を凝らしながら仕事と生活をエンジョイしていきたいと思えます。

地区活動レポート

中部地区：見学会（セントレア他）

中部地区 小畑 敏子

日 時：平成 18 年 10 月 5 日（木）13:10～20:00

場 所：セントレア・愛知臨空新エネルギー研究発電所見学

参加者：約 30 名（会員 3 名、学生 2 名、中部地方整備局女性技官の集い 25 名）

内容その他

(1) 愛知臨空新エネルギー研究発電所見学

メタン発酵システムや燃料電池、太陽光発電などの見学

(2) 常滑浄化センター見学

家庭やセントレアからくる汚水の浄化施設を見学

(3) セントレア見学

セントレア内のバリアフリーを見学

(4) 懇親会

参加人数が少なく、開催が危ぶまれた見学会でしたが、中部地方整備局女性技官の集いから多数参加があり、平成 18 年 10 月 5 日、無事に開催できました。窓口となって下さった中部地方整備局の所さんと加藤さん、案内をしてくださった中西さんにこの場を借りて感謝致します（参加者は、土木技術者女性の会 3 名、名古屋大学 2 名、中部地方整備局 25 名）。

見学会のコースに従って、①愛知臨空新エネルギー研究発電所 ②常滑浄化センター ③中部国際空港 の順に報告します。

①愛知臨空新エネルギー研究発電所

りんくう常滑駅から間近に見えるこの研究所では、愛知万博において実証研究を行っていた太陽光発電、燃料電池、蓄電池等を組み合わせ、より高度な新エネルギー発電技術の開発を行っています。NEDO 技術開発機構が新エネルギーコンソーシアム（中部電力（株）を始めとする 7 社と愛知県）に委託して共同研究を行っています。現在も生ゴミから燃料を作るメタン発酵システム等を工事している中での見学会でした。

ここで作られた電気は専用の電線を通して常滑市役所と常滑浄化センターへ供給され、余った電力は個人には



提供せずに、売電しているそうです。一番の実用向けは太陽光発電。メタン発酵システムは生ゴミを集めることが難しく、規模は小さいとのことでした。約 1200 枚の太陽光発電のパネルが整然と並んでいる風景には圧倒されました。

②常滑浄化センター

平成 17 年 2 月に完成したこの施設では、7.5ha（H18.10.5 時点）ある敷地の一部を使用して、中部国際空港の空港島とりんくう町（空港対岸部）の汚水を受け入れています。

現在常滑市の下水普及率は 23%（面積的な普及率）ですが、今後徐々に整備されていけば、全体計画で

1820ha の計画区域面積で発生する 58,200m³/ 日の汚水量を処理するようになります。処理の過程は、沈砂池→最初沈殿池→活性汚泥を加え、微生物により分解→最終沈殿池→急速ろ過池→減菌池→放流です。沈殿池に沈んだ汚泥は脱水され、植生可能なブロック作りに使用しているとのことでした。水処理施設では、多少においが気になるところもありましたが、作られたばかりのためか、下水処理場とは思えないようなきれいさでした。



常滑市下水処理場 水処理施設

③中部国際空港

平成 17 年 2 月の開港した当初は連日の見物客に対応が追われたこの施設では、ユニバーサルデザインで工夫している点を見学しました。出発、到着とも鉄道駅のホームから搭乗口まで階段を使わずに行けるようになっており、洋式トイレは、間口奥行きとも十分なスペースを確保しています。1 階のセンターピアガーデンには、愛地球博のトヨタグループ館で好評だった i-unit 等が展示されていました。

3 箇所を見学してみて、空港建設によって変わって行く常滑市を垣間見た気がしました。名古屋からも近いこの地が今後どのように変化していくか見守って行きたいと思います。

使って便利、私の家事の工夫

圧力鍋に夢中！

関西地区 上林 恭子

今年 6 月に購入しました《圧力鍋》に夢中です。

何といても調理時間がこんなに短くて済むということに「びっくり！」です。『カレー』なら、今まで前日から準備していましたが、2 時間ぐらいで“すね肉”もトロトロです。煮込み料理の時には、焦げないように鍋の前にスタンバイして混ぜるという作業もありましたが、圧力鍋にしてからは鍋から蒸気が噴出すまできちんと見ていて、後はキッチンタイマーで管理するのみです。他の事が出来るようになりました。

また、『茶碗蒸し』など蒸し物がとても上手にできるようになりました。蒸し物が圧力鍋の得意分野だったとは、私には想定外でした。『茶碗蒸し』は普通の鍋ですと、失敗することが多かったのですが、圧力鍋で作るとプルンプルンに出来上がり、子どもも「おいしい！」とたくさん食べてくれました。

この様に、お薦めの圧力鍋にも不満なところが二つあります。一点目は値段が高いことです。我が家の場合、平日

はおばあちゃんに食事の支度をお願いしているので、圧力鍋は土日にしか利用しませんが、圧力鍋の調理だと、ガス代の節約にもなり、現在、初期投資分をガス代で償却しているところです。

二点目は鍋の蓋が重いことです。蓋が重いので洗うのが手間です。もちろん食洗機は利用できません。蓋の重さは、残念ながらどうにもなりません。しかしながら、トータル的には、「使えるぞ！圧力鍋！！」ということで、今、私のお薦めの一つです。



関西地区：下水道須磨浦幹線見学会＋懇親会

関西地区 村上 育子

日 時：平成 18 年 10 月 26 日（木）13:30～

場 所：神戸市長田区 須磨浦幹線工事（懇親会：大阪市東梅田）

参加者：会員 5 名、会員外 2 名

内容その他

神戸市内 5 箇所の下水処理場間を大口径、大深度で連絡するネットワーク化事業の一部。見学させていただいた現場は掘り始め箇所に立坑があるのみで、中間に立坑を設けることなく掘り進んでいっている下水工事としては日本一長い（4.4km）施工。トロッコに乗車し、片道 20 分かけて切羽部まで見せていただきました。

見学会について

2006 年 10 月 26 日、三好世話役・新体制発足後の初めての現場見学会が行われました。見学先は、神戸市長田区南駒栄町～須磨区一ノ谷町 5 丁目を結ぶ「須磨浦污水幹線布設工事」です。

このプロジェクトは、神戸市内 5 箇所（東灘、鈴蘭台、中部、西部、垂水）の下水処理場間を大口径、大深度で連絡する総延長約 41km のネットワーク化事業の一部です。その中の「須磨浦污水幹線」は、長田区南駒栄町にある西部処理場から垂水区平磯にある垂水処理場の 8.2km を相互連絡するもので、このうち当工事は西部処理場の北隣に位置する駒ヶ林公園から須磨区一ノ谷の須磨浦公園東端までの約 4.4km 区間を、泥水式シールド工法を用いて仕上がり内径 2,400mm（二次覆工）の污水管を築造しています。

今回の見学には、会員 5 名、会員外 2 名の計 7 名が参加しました。

工事事務所にて工事概要の説明を受けた後、発進立坑より階段で地下約 23m の底部まで降り、そこからは資機材を搬入する際に使用するトロッコに全員で乗車しました。すでに掘進延長が 2/3 まで進んでいるために、シールド先端部・切羽まで乗車時間 20 分（片道）も掛けて見学に行きました。このシールドは中間立坑を設けずに一気に 4.4km を掘り進む、下水シールド工事としては日本一長い掘進長であるために、立坑～切羽間が長いこと長いこと・・・トロッコ乗車中に睡魔と闘いながらも無事に見学は終了し、見学後の質疑応答では、土質や、発注者との設計変更、マシンのトラブルについてなど様々な話題が上り、2 時間半の工程は瞬く間に終了しました。



【工事諸元】

工事名称：須磨浦污水幹線布設工事（その2）

発注者：神戸市建設局 下水道河川部

請負者：鹿島・戸田・佐藤・銭高

特定建設工事共同企業体

工事期間：平成16年10月～平成22年3月

（予定：二次覆工を含む）

工事内容：泥水式シールド L=4,393.87m

鋼製セグメント外径φ 2,950mm

発進立坑 8.9m × 12.2m × 24.1m

懇親会について

見学会終了後、そのまま神戸より梅田へ移動し懇親会に突入しました。

懇親会の中では出席者が全員会員ということもあって、今後の関西地区の活動方針や、来年度に関西地区で開催される総会について、様々な意見交換を行いました。しかし、お酒が回るにつれどんどんと話題は逸れていき、結局はごく普通の楽しい飲み会に化けてしまいました。

関東地区：見学会・勉強会 （近代土木遺産の見学会とワイナリーめぐり）

関東地区 箱田 裕子

日時：平成18年11月25日（土）

場所：山梨県甲州市勝沼町 他

参加者：会員6名、学生1名

内容その他

当日のスケジュール：

- (1) トンネルワインカーブ（JR旧深沢トンネル、土木学会誌1月号で紹介）見学
- (2) 昼食（古民家でほうとうをいただいた）
- (3) ワイナリー、ワイン資料等の見学
- (4) 甲州街道勝沼宿の散策
- (5) JR勝沼ぶどう郷駅（16時頃）解散
- (6) 希望者はぶどうの丘で宿泊

<その後、岡村先生のご好意で先生宅を訪問！>

歴史とワインのまちを歩く

2006年11月25日（土）、26日（日）、関東地区では山梨県甲府市勝沼町にて見学会が開催されました。この勝沼町は“日本一のぶどうとワインのまち”と言うだけあり今回は、ワインの歴史に触れながら勝沼町の土木遺産をみることができる、一石二鳥の見学会でした。

勝沼町にある、深沢トンネル（延長1.1km）と大日影トンネル（延長1.4km）は約百年も昔のJR中央線の開業時、明治36（1903）年に整備され、平成9（1997）

年に輸送力増加のためのルート変更により役目を終えています。また、平成17（2005）年に煉瓦造の鉄道隧道群として「土木学会選奨土木遺産」にも登録されました。

今回の見学のメインは、新宿駅寄りのこの深沢トンネルです。JR東日本から勝沼町に無償で譲渡され、現在は近代土木遺産を活かす一つの方法として地元の特徴を存分に発揮したワインカーブとなっています。トンネルの中は中央の歩道部にコンクリートがうたれているものの、側面・天井は当時の煉瓦のままで当時の職人さんの

息づかいが感じられます。このトンネルには峠を越える歩行者の利用も考えて機関車が来たときの避難穴があるなど、昔の鉄道トンネルならではの工夫も見られました。

勝沼駅ぶどう郷駅寄りの大日影トンネルは、遊歩道に利用するために整備をしていました。中を見学することはできませんでしたが、本年8月29日（水）に開通しています。勝沼駅ぶどう郷駅より5分のところに立地しています。日本最長の鉄道トンネルを再利用した遊歩道になるそうです。ぜひ、次回足を運びたいと思いました。

これら煉瓦造の鉄道隧道群から離れたところにある、明治・大正時代の国を挙げての河川改修工事「日川水制群」やコンクリートアーチの「祝橋」など近代土木遺産も散策しました。また、町のシンボル葡萄の絵が入っているマンホールを見つけては、みんなで「ワー」「キャー」と、さすが土木に携わっている人たちだなあ、と感心しながら一緒に写真を撮っていました。

勝沼町を歩いてみると、歴史のまちだということを実感します。近藤勇ゆかりのお寺があったり、1300年ものワインの歴史があったり。また、自然が豊かです。ちょうど秋に開催したため、きれいな紅葉と縁側の干し柿の深い色がとても美しかったです。ぶどう畑は収穫が終了し蔓が伸びているだけでしたが、おいしいワインをいただくことができました。

宿泊施設（ぶどうの丘）にもワインカーヴが併設され、地下におりると約2万本のワインがズラッと並んでいま

した。1100円を払うと銀の皿（タートヴァン）をいただき、すべてのワインのテイスティングをすることができます。これだけ並んだワインを見たことがなく私は少し興奮してしまいました。人それぞれ好きな味は違うもので、自分の口にあうワインを探しだすのは楽しかったです。やはりおいしいものを食べてきたのだな、と思う参加者のある人はズバリ高級ワインを当てていました。



また、1日目の夕食は関東地区のメンバーである岡村美好先生のご自宅にご招待していただきご馳走になりました。旦那様も温かく迎えてくれ、多種多様なお話をしてくださいました。地元を案内し、ご飯まで用意していただき、岡村先生のご厚意に甘えてばかりでした。

今回は少人数でこぢんまりとした見学会でしたが、参加者みなフットワークが軽く、町内のいろいろなところを見ることができました。歩いてみることで、今まで意外と気が付かないことが見えてくるかもしれません。ご自分のまちなちもゆっくりと歩いてみてはいかがでしょうか。

新役員紹介

会計監査 天野 玲子

新しく会計監査となった天野です。

土木技術者女性の会が発足して以来、13年間の副会長、5年間の事務局長をやらせて頂いた後、5年振りの役員です。

今回、役員に返り咲いたことをきっかけとして、これまでの役員経験者の方々などにも積極的な参加を呼びかけたいと思っています。

最近の不景気な状況の中で、若い会員の方々は何かと苦労されることも多いのではないのでしょうか。そんな時こそ、これまでの先輩の経験と知恵が役に立つことも多いと思います。

若い会員の方々や役員経験者などの経験豊富な会員の方々との掛け橋に慣れれば幸いです。



北海道地区：勉強会＋忘年会

北海道地区 木村 美奈子

日 時：平成 18 年 12 月 16 日（土）15:00～

場 所：（株）HVC 戦略研究所 調査研究部

参加者：11 名（うち関東地区から 1 名、学生 2 名）

内容その他

河合菊子（当会会員）「米国国務省招待 IVLP 参加のご報告」

木村美奈子（当会会員）「私の仕事と札幌の下水道」

勉強会内容

1. 「米国国務省招待 IVLP 参加のご報告」

発表者；河合菊子

ひょんなことから、世界各地の 20 名の女性たちとほぼ一ヶ月にわたり米国各地を巡る “International Visitors Leadership Program” へのご招待をいただき参加してきました。一ヶ月、日本を離れるのは大学を出てからは初めての経験（残念ながら仕事をしつつ、ではありましたが）。アフリカ、アラブ、中米、東欧、東南アジアの女性の仲間たちと、“Women’s Leadership Development” をテーマとして、米国各地で色々な人にとって議論をしながら、色々なことを考えました。特にロチェスター工科大学では、工学部の女性（学生、教員、職員）サポートへの取り組みを聞け、アメリカの女性技術者の会へのコネクションもできました。



「女性の社会進出」が進んでいるのは実は東欧諸国。日本やアメリカはとても遅れています。土木技術者女性の会には、後に続く人たちへの情報の提供などの外向きな活動も求められているのだなあと、勉強会でみなさんに説明しながら改めて感じました。話を聞いてくださっ

たみなさんはどうお感じになったでしょう？

なお、お話しさせていただくことが決まっていた私がほとんど札幌にいなかったため、北海道地区で従来から決められていたのとは異なる日、時間帯での開催になったことを深くお詫び致します。色々な形でご意見を下さった方々、ありがとうございます。次回からは北海道地区の本来のやり方で開催していただけるようになると思います。幹事の木村さん、色々面倒な手配をありがとうございました！（河合）



2. 「私の仕事と札幌の下水道」

発表者；木村美奈子

これまで携わってきた仕事（事業場排水の水質指導、管路計画、事業認可等法手続き、下水処理場の維持管理）や札幌の下水道状況、産休や育児時間取得、産後の異動について説明しました。

懇親会

勉強会終了後、高田屋（北 8 条店）にて懇親会を行いました。おいしい料理とお酒で大変盛り上がりました。

関西地区：狭山池ダム他見学会＋新年会

関西地区 三好 葉子・牛山 育子

日 時：平成 19 年 1 月 20 日（日）14:00～

場 所：大阪狭山市 府立狭山池博物館及び狭山池ダム（懇親会：難波）

参加者：会員 6 名、お子さん 4 名

内容その他

狭山池は 7 世紀始め頃に誕生した日本最古のダム式のため池。1400 年にわたって重ねられてきた狭山池改修の歴史が土木遺産として保存・展示された博物館を学芸員の案内で、また、改修工事の際のあれこれを施工当時の大阪府職員の方から伺いました。

関西地区では、さる 1 月 20 日（日）に会員 6 名とお子さん 4 名で、大阪狭山市にある狭山池ダム及び大阪府立狭山池博物館の見学に行きました。

その概要についてご報告いたします。

狭山池ダム概要

狭山池は、7 世紀初めに誕生した日本最古のダム式のため池です。

この池は、日本の様々な土木工事に尽力した「行基」が造ったものと言われています（行基は他に東大寺の大仏造立にも関わっており、近鉄奈良駅前には行基の銅像が建てられていて、地元では有名な待ち合わせ場所となっています）。



狭山池（取水塔）

狭山池ダムは、昭和 57 年 8 月の豪雨災害を機に、農業用ため池であった狭山池を、洪水調節機能を持ったダムに改修すること

を目的として、「狭山池『平成の大改修』」と銘打ち、昭和 63 年に工事着工しました。

この際、1400 年にわたって重ねられてきた改修の歴史を土木遺産として保存・展示するため、博物館を併設した事業となったのです。

農業かんがい機能を停止させることなく池底掘削工事を進め、特殊な技術により堤体の一部を切り出し保存。周辺の景観を整備するため、千本の桜を植樹し、堤体には自然石を敷き詰めました。昭和 63 年の着工からようやく平成 13 年 3 月に工事が完成し、同年 4 月には博物館が開館となりました。



狭山池博物館

…まあ、タメイキが出てしまうようなゼイタクな建物なんです。一度御覧あれ。

博物館内にて

狭山池博物館は、安藤忠雄氏の設計によるもので、入館は無料。外観は安藤建築らしいコンクリートの打ちっばなしです。

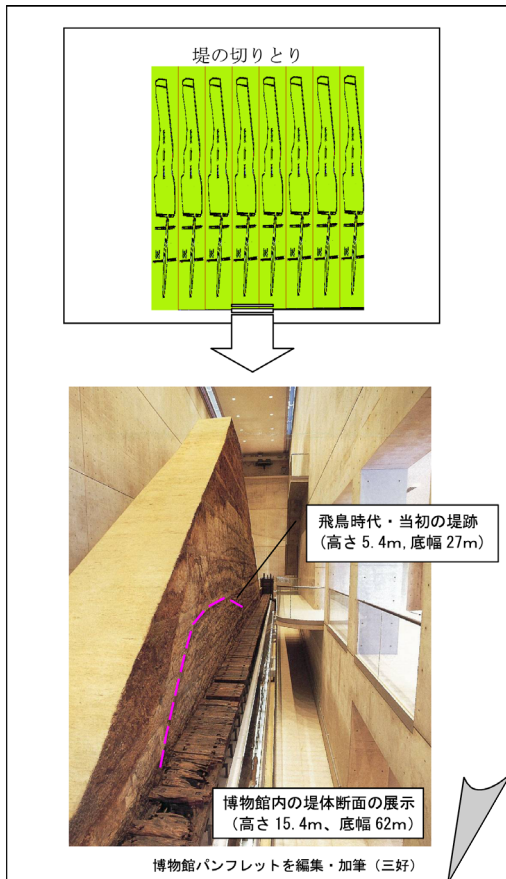
ここには、狭山池の歴史的な流れを説明したパネルや、出土した樋管、石碑等以外に、発掘当時の堤体の断面を展示しています。この堤体断面は、高さ約 15m、幅約 60m あります。これは現地で堤体全体を百以上の長方形のピース状に切り取って、一旦保存してから最終段階で

ブロックのように堤体断面に組み立て、特殊ボンドで固めて劣化を防ぐ加工を施しています。

鎌倉時代に使用されていた「樋」(水を取り出す設備)は、古墳時代の石棺を再利用したものです。

堤防の土台の石積みには石碑の利用も見られました。

古くからリサイクルの意識があったことに驚きました。



池周辺にて

堤防を一周する遊歩道沿いには、約千本の桜が植えられています。

もともと桜の名所であったことから、地元要望でその再現を果たしました。

特色を出すため、大阪市内より若干遅れて見ごろを迎える樹種を選定したとのこと。

来年の春に是非出かけてみてはいかがでしょうか？



後はずっと桜並木です。
コシノヒガンザクラ。まだ小っちゃい

今回はお子さん連れの企画でした

お子さん連れでご参加の方々、本当にお疲れさまでした。皆、退屈なだけやったかな。

帰り道のダムで石蹴りをして遊んだのが一番思い出に残っているかもしれません。

今回は、博物館の学芸員さん以外に、当時、ダム工事に携わった大阪府職員にも同行していただきました。博物館内は学芸員の方のご案内に沿って、池周辺では府職員の方に当時の苦労話や施工方法の解説等をしていただきながら、内容の濃い時間を過ごすことが出来ました。

この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。



中央が大阪府の山室さん
完成した状態を見るのは初めてなので、来られてよかった、と仰ってくださいました。



しこりをみつけたら、乳腺専門医のいる外科へ!

10月は乳がん月間

早期に発見すれば、乳がんは治る病気です

乳がんにかかる女性は年々増えています。
特に高学歴の人に多いと言われてます。
30過ぎたら月1回の自己検診を忘れずに!
50過ぎたら年1回のマンモグラフィ!(とても痛いけど…)

関東地区：女子学生との交流会及び講演会

関東地区 今村 麻希

日 時：平成19年1月28日（土）13：00～

場 所：鹿島建設 KIビル

参加者：19名（会員：11名、学生：12名）

内容その他

講 師：東京電力(株)ダイバーシティ推進室室長：雨宮弘子氏

武蔵村山市都市整備部長（当体会員）：松本香澄氏

鹿島建設(株)土木管理本部土木技術部部長（当体会員）：天野玲子氏

テーマ：未来を考える時間 2007～仕事って何だろう～

内 容：2部構成とし、第1部では、企業における男女共同参加の取組みについての講演会、第2部では、社会人・学生を5つの班に分け、グループディスカッションを実施しました。

2007年1月28日13:00より鹿島建設KIビルにて、「未来を考える時間 2007～仕事ってなんだろう～」と題した関東地区の勉強会を開催しました。参加者は、社会人11名（会員・非会員含む）、女子学生12名の計23人。内容は、2部構成となっており、第1部では、企業における男女共同参加の取組みについての講演会が行われました。講演者は以下の3名です。

◇東京電力(株)ダイバーシティ推進室室長

雨宮弘子氏

雨宮さんは、現在ダイバーシティ推進室の室長として、女性社員の活躍支援と社員のワークライフバランスの推進に力を入れておられます。ダイバーシティとは、多様性のことであり、女性の活躍について、土木の世界に捉われない広い視点から話をして頂き、とても興味深いものでした。

◇武蔵村山市都市整備部長(当体会員)

松本香澄氏

松本さんは、日本女性技術者フォーラムで出版した「実践リーダーをめざす人の仕事術」(M.ウィリアムズ, C.エマーソン著)の訳者の一人であり、本の内容について、経験談を交えて紹介して頂きました。理系の女性はみなリーダーになりうる素質を持っているという言葉がとても印象的でした。リーダーになった方が、もっと自由に

仕事をこなすことができ、仕事の幅が広がったり、自分の時間をひねり出すことができたりする可能性があることを学びました。

◇鹿島建設(株)土木管理本部土木技術部部長(当体会員)

天野玲子氏

皆様ご存知の通り、天野さんは80年に鹿島建設に入社され、現在、土木技術本部にて土木部門の技術開発の企画・管理業務に携わる傍ら「トンネル火災防止技術」の開発業務を行っていらっしゃいます。そんな天野さんよ



り、鹿島建設の女性土木技術者の現状・活躍について語って頂きました。中でも、活躍して行くためには、「自分のキーワード

を持つこと」が重要であるという言葉がとても印象に残っています。

第2部では、社会人・学生を5つの班に分け、グループディスカッションを実施しました。あらかじめ学生さんに、就職にあたって聞きたいことや不安等を考えてきてもらい、それらを元にして活発な意見交換等が行われました。具体的には、今の職種・会社を選んだ理由や、

仕事と家庭の両立の仕方、男性と女性の差など様々なものがあり、それに対して社会人が経験を元にアドバイスをするなど、グループ毎に有意義なひと時を過ごすことができたと思います。その証拠に、ディスカッション後に実施したアンケートには、「楽しかった」「とても勉強になった」「仕事をするこ



の動機付けが高まった」「また参加したい」という前向きな意見が多く、開催して良かったなと思いました。私自身も、先輩方の経験談や学生さん達の熱い思いを聞くことができ気づかされることも多く有意義な時間であったと思うと同時に、働くことに対する意識が高まり、参加して頂いた皆様に変感謝しております。

今後も、現場見学会など幾つかの活動を計画していますので、興味のある方はぜひ参加して下さい。お待ちしております。

交流会に参加された女子学生からのメッセージ～1

首都大学東京 小川 由布子さん

この勉強会には、大学の方からお誘いがあり、参加させて頂きました。本当に貴重な時間になりました。

第一部では、様々な立場からのご講演、大変興味深く拝聴しました。

雨宮さんのお話では、外資系企業との比較が印象に残り、女性が男性と同等に働くことより、女性としていかに働いていくかを考えるきっかけとなりました。

松本さんのお話では、あまり意識していなかったリーダーになるということの大切さを感じ、また、今までは何事も一生懸命頑張ろうという姿勢を目標にしていたので、一生懸命に要領よくという言葉が印象に残りました。

最後に天野さんのお話では、自分のキーワードをコンクリートと自信を持っておっしゃられる天野さんに感銘を受け、私も自分のキーワードをはっきりと言えるように勉強しようと思います。

第二部のグループディスカッションでは、2つのテーマを取り上げました。一つは結婚、出産と仕事です。実際にお子さんをお持ちの松本さんの経験を伺えました。土木では初めての女性ということに対する周りの方々も困惑と、その中で、自分の考えを話し、周りとの協力し、環境を整えてきたことを伺いました。前例になることの

大変さと、この前例のおかげで、現在女性技術者が働ける環境が増えてきていることを感じました。もう一つは、自分が今考えている、職業の選択について、先輩お二方の職業選択の過程を伺い、また、同じ立場の学生ともお話ができ、勉強になりました。

積極的な発言が苦手な私にとって、今回の少人数で、和やかな雰囲気は、とても話し易く、他のグループの方とも、もっとお話したいと思いました。

先輩方は、女性技術者の少ない環境において、悩んで、考えて、行動してきていることに、改めて尊敬しました。自分の今抱えている問題に対して、先輩方の意見を伺うことで、また一歩先のステージで、悩み、考えることができます。社会人、学生を問わず、様々な立場の方々とお話することの大切さを感じるとともに、このように考えるきっかけとなる勉強会を企画して下さい、ありがとうございました。



交流会に参加された女子学生からのメッセージ～2

首都大学東京 石塚 喜望さん

○講演に関して

それぞれ分野の違う3名にお話しいただき、バリエーションに富んでいて大変面白かったです。

特に印象に残ったことは、“組織の中での部門”がダイバーシティの例の中に入っていたことと、リーダーになるということと、お話しいただいた方々の様子です。

今までは昇進や出世に対して関心がありませんでしたが、キャリアに対しての意味合いや意義を考えるきっかけになりました。また、これまでの仕事について話す様子がとても生き生きとしていて、将来に対する希望や勇気を分けていただきました。3名ともいいことばかりじゃなく、ありのままをお話しいただいた気がします。大変刺激になりました。

○グループディスカッションに関して

話しやすい雰囲気です、ついついたくさん話してしまいました。また、学生と社会人の方の割合がとても贅沢で恵まれたチャンスだったと思います。

他のテーブルが何について話していたかも知りたかったです。事前アンケートである程度話題を絞ったことで、限られた時間でも内容の詰まったものにできたと感じました。

○社会人の先輩方に関して

みなさんそれぞれ豊かな個性をお持ちで、とても素敵な方ばかりだと感じました。仕事に誇りややりがい

を持っているのが強く感じられました。

建設業界で働き続けている方ばかりなので、もっと“肩で風を切るような”方を想像していましたが、みなさん大変ご活躍なさっていながらも、とても自然体だったことが印象的でした。

私も一生懸命頑張れば、将来的に先輩方のようになるのかもと思えたことがすごく励みになりました。早くこんな先輩方の仲間入りがしたいと思いました。

○同じ土木系の学生に関して

大学や学年、専攻のバラエティーに富んでいて、それぞれ考えている内容や程度にもバラエティーがあり興味深かったです。しかし悩んだり迷ったりするポイントは、あまり違いはないということが分かって、気持ちが軽くなりました。

○土木技術者女性の会に関して

それぞれの属する組織の利害などに関係なく、本当にざっくばらんに話せる環境が素晴らしいと思いました。また、ひとくちに土木技術者と言っても年齢も分野もキャリアも幅広く、それがまたお互い話す環境としていいと思いました。ぜひ学生も参加できるようにしていただけたらうれしいです。

土木技術者女性の会では、女子学生の皆さんにご入会いただくため、学生会員の制度を新設しました

<入会の対象となる方>

中学校、高等学校、高等専門学校、専門学校、短期大学、大学、大学院に在学中の女子学生なら誰でも入会できます。

ただし、メーリングリストを利用して情報を配信しますので、メールアドレス（携帯メール不可）をお持ちの方に限ります。

また、高校生以下の入会には、保護者による記名押印された同意書が必要です。

<会員特典>

①土木技術者女性の会が行う総会、見学会、講習会等各種行事に参加できます。

②公式ホームページ内会員専用サイトの利用ができます。

③土木技術者女性の会が販売している就職支援パンフレット「Civil Engineer への扉」を無料で差し上げます。

※詳しくは、「土木技術者女性の会」のWEBサイト (<https://womencivilengineers.secure-ymc.jp/>) をご覧ください

関東地区：土木現場見学会

関東地区 高橋 恵子

日 時：平成 19 年 6 月 8 日（金）～ 9 日（土）

場 所：東京電力 神流川発電所

参加者：15 名（会員：7 名、学生：8 名）

内容その他

1 日目：下部ダム見学（群馬県）

2 日目：上部ダム見学（長野県）

関東地区 土木現場見学会が平成 19 年 6 月 8 日（金）～ 9 日（土）に行われました。

見学の場所は東京電力の神流川発電所で、長野県の南相木村を流れる信濃川水系南相木川の最上流部に上部調整池（上部ダム）、群馬県の上野村を流れる利根川水系神流川の最上流部に下部調整池（下部ダム）を持ち、この間の落差 653m を利用して、最大 47万 kW の出力を行う純揚水式発電所です。

下部ダムと上部ダムは直線距離では約 6km なのですが、下部ダムから上部ダムへ直接移動する車道が無いため、車では迂回して約 50km の道のり移動しなければならないという、ちょっと不便な位置関係にあり、1 日目に下部ダム（群馬県）、2 日目に上部ダム（長野県）の見学をしました。

見学会当日の天候は悪く集合場所である高崎から現地に行く途中で本格的な雨となり 2 日間ともに雨で、通る予定だった道が土砂崩れになり通行不可になってしまったほどひどい雨が降りました。そんな天候の中、参加者全員が日頃よほど行いが良かったのでしょうか、私たちが屋外を見学している間だけは、ほとんど雨に降られませんでした。おかげで屋内屋外を問わずゆっくり十分に見学することが出来ました。

神流川発電所の見学ポイントは、水圧鉄管 TBM 水平坑などの発電所土木設備の現場、周辺の自然環境や地域との共生の様子などで、いずれも最新の技術が取り入れられていました。

特に周辺の自然環境に対する配慮には多くの工夫が施されており、その一部である「水廻し水路」や「選択取

水設備」の設置は、ダム構築に伴う水の流れや水温などの河川環境の変化をできる限り小さくするよう設計されたものでした。純揚水式発電所は河川の自然流入水を利用せずに発電できることから、流域の河川水が貯水池に流入しないよう貯水池周辺に「水廻し水路」を設置することにより河川水をダム建設前の水の流れに近づけるよう工夫されたものでした。さらに「水廻し水路」では対応できない出水時の河川水や浸透などによる貯水池への流入水については貯水池上流の河川で測定した水温と同程度の水温で下流に放流するため選択取水設備が用いられていました。



今回の現場見学会では東京電力の方々には送り迎えを始め、一般の方が入れないところへご案内頂いたり（神流川発電所は一般の方が見学できるツアーがあります）、詳細な資料を配布下さったり、差し入れを頂いたりと本当によくして頂き感謝致しております。特に、ご案内下さった松鶴さんは単身赴任で土日が家族団らんの時間であったところ、今回の見学会のために大切な時間をつぶしてご案内して下さいましたとのこと、大変ご迷惑お掛けしました。本当にありがとうございました。

ご協力頂いた東京電力の方々に、この場をお借りして深く御礼申し上げます。

新役員紹介

会計監査と、この会と私の関わり

会計監査 山本 美子

このたび、会計監査をお引き受けしました。とはいっても、年度の最後に監査をすることと総会でその報告をすること、という程度に認識しています。役割がないと総会に出ないから、と、この役目がまわってきたのでしょう。

さて、近況。「輪」の編集長をやっていた頃（7年前）の編集後記をみると、長女が大学生、次女が高校生、三女が中学生、という構成でした。今は、長女は小学校の先生、次女は大学院生、三女は大学生で、いずれも家を離れていて、夫と二人暮らしです。私は、転職して、地元の建設コンサルタント勤務です。会に入った頃は、産休・保育所探しなどにバタバタしていましたが、保育所の送迎、学校行事なども過去のこととなり、出張や会議には気楽に出かけられるようになりました。

総会、会誌、地区の行事、メール連絡、いろいろな手段で、会の皆様とお付き合いさせていただきたいと思っております。これからもよろしくお願い致します。



使って便利、私の家事の工夫

夕食は朝作る

関東地区 大橋 幸子

自己紹介

我が家は4人家族である。公務員の私と、会社員の主人、そして保育園に通っている3歳の長女と2歳の長男がいる。私は今年の3月まで育児休業を取っており、今年度から職場に復帰した。育休中の家事も仕事をしながらの家事も、かける時間は違うのだが、その出来に満足することがないという点では同じ気がする。

夕食は朝作る

大抵の人は、お腹が空くと機嫌が悪い。我が家で全員がこれに当てはまる。もし、夜7時ごろ帰宅した後に夕食を作るなんてことになったら、子供はぐずるし、親は無駄に叱る自分を止められない。

だから、夕食は朝作る。帰ったら温めて食べるだけなので、家族の機嫌も悪くならない、自分が残業でも大丈夫。ただ難点は、朝と夜がまったく同じ食事になること。「朝の残りだね」という子供に向かって「朝に夜の分を



作ったの！」などと半ば本気で反論することもあるが、今のところ何とかうまくいっている。育休明けの体に5時半起床はつらいけれど、使って便利、朝の時間。

だけど本音は…

とは言っても、一人で家事をやろうと思ったら限界がある。我が家では「いかにストレスをためないか？」が共通認識なので、便利なものはどんどん利用する。食器洗い乾燥機、洗濯乾燥機、冷凍・レトルト食品（子供が食物アレルギーなのであまり使えないが）、そしてベビーシッター。だけどやっぱり一番気兼ねなく使えるのは…ダンナですよね？

岐阜大学 進路就職説明会に参加して

中部地区世話役 小畑 敏子

小春日和の平成 18 年 11 月 24 日、岐阜駅からバスで 30 分、山のふもとにある岐阜大学において「土木の仕事」についての説明会を行いました。社会基盤工学科 3 年生・大学院社会基盤工学専攻 1 年生を対象とした進路就職ガイダンスの一環としての説明会です。土木学会でつながりのある岐阜大学の六郷先生から「土木技術者女性の会」事務局長須田さんが相談を受け、調整していただいた結果実現したものです。

説明は 3 人によって行われました。トップバッターは「私の仕事・国の道路技術者」と題して中部地方整備局 名古屋国道事務所 豊田維持出張所長の所さんです。22 年間国道の仕事に携わり、調査企画・国道建設・維持管理を行ってきました。平成 4 年、国道 19 号北山トンネル工事では、トンネル工事において初の女性現場監督員として新聞等で報道されました。昭和 22 年に施行された労働基準法では、トンネル内の仕事が主に筋肉労働であったため、女性の坑内労働を規制していました。女性技術者が昭和 50 年(国際婦人年)以降徐々に増え、労働環境が変化してきている中、労働基準の見直しが求められていた時期での風穴を通すような出来事でした。発表では工事中、工事の影響を軽減する工夫や、利用者や沿道住民の皆さんの声に耳を傾ける姿勢について説明され、分野は違うものの国の仕事に携わっている私にとっても大変参考になりました。

次は小畑がここ 2 年半勤めている中部地方整備局 庄内川河川事務所での職務を中心に説明しました。国土交通省の組織に触れた後、庄内川流域の概要、事務所として行っ



ている事業、そして 2 年間勤めていた調査課と半年勤めていた工務課での職務内容について説明しました。最後に QA 方式でお給料や福利厚生施設などを話しました。学生から「女性として有利な点・不利だった点等はありませんか？」という質問があり、有利な点は、女性が少ないため、顔を覚えてもらいやすい点であり、それが返って不利になることもあると答えました。

締めを飾るのは鹿島建設(株)の須田さんです。技術研究所では橋脚等の耐震性能について研究を重ね、「コンクリート構造物の崩壊挙動モデル」に関する研究成果で博士号を取得しています。設計においてもその知識を生かした仕事をしています。技術者としての意気込みが伝わってきて大変面白かったです。説明会終了後も学生からの質問攻めを受け、発表の反響が大きかったことがうかがえました。

私が学生だった時分に同じような説明会があり、県の公務員だった先輩が公務員の良さを話されたことが公務員になろうと思ったきっかけの一つでした。この説明会を受けて岐阜大学の学生さんがどのように感じたかは分かりませんが、自分の納得した進路を見つけてくれればと願っています。末筆ながら、このような場を設けてくださった方々、説明会に参加してくださった方々に感謝して筆を置きます。

事務局便り

事務局関係メンバーの主な業務の紹介

担当者名	主な担当業務
副会長 佐藤 亜紀子	①会員情報管理（会員名簿管理、入退会手続き、会費請求） ②HP関係（名簿管理システム管理、コンテンツ見直し）
事務局長 笹尾 圭哉子	①会員情報管理（連絡窓口） ②HP関係（事務作業効率化の検討、コンテンツ見直し） ③その他（プレス対応等連絡窓口）
事務局スタッフ 龍 尊子	①役員会・総会関係（総会資料印刷・PDF化、役員名簿管理） ②会誌関係（印刷、PDF化、発送） ③その他（封筒印刷・管理）
事務局スタッフ 時弘 みどり	①役員会・総会関係（総会資料作成） ②HP関係（コンテンツ見直し、メールニュース掲載）
事務局スタッフ 島村 亜紀子	①役員会・総会関係（役員会開催事務・資料作成・議事録作成）
事務局スタッフ 松本 香澄	①就職パンフレット関係（全国建設研修センター座談会対応） ②その他（メールニュース作成事務・発信）
事務局スタッフ 金坂 果林	①HP関係（コンテンツ見直し） ②就職パンフレット関係（発送事務） ③資料管理（会に関連する新聞・雑誌掲載記事PDF化、電子資料管理）

新役員紹介

元気をもらってください

事務局スタッフ 龍 尊子

このたび、事務局スタッフとして参画することとなりました龍 尊子（リョウ タカコ）です。平成5年に大成建設（株）に入社し、以来勤務しております。

土木技術者女性の会へは、入社したての頃に、職場の先輩に誘われたのがきっかけです。当時は、他の参加者とくに諸先輩の方々のパワーに圧倒されっぱなしでした。しかし、「何だかよく分からないけど、元気をもらおう」気がして、見学会・勉強会に参加するのをたのしみにしておりました。その後、結婚・出産等ですっかり足が遠のいておりましたが、これをきっかけに、また参加したいと思っております。

微力ながらお手伝いさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



土木技術者をめざす女子学生のための就職支援パンフレット 「Civil Engineerへの扉」2006年版

就職支援パンフレットは、将来を模索している女子高校生や女子大学生の職業選択や、土木技術者をめざしている女性達の就職活動を支援することを目的として、土木技術者女性の会が作成した就職支援パンフレットです。

ご希望の方は住所・氏名・注文内容を明記の上、下記にお申込みください。

【申込・問合せ先】 土木技術者女性の会事務局 E-mail: suda@kajima.com

定価 1冊 500円（送料別）



◇◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇◇

・私事ですが、春に転職し現場という世界からすっかり離れてしまいました。まだ、半年なのに原稿を読みながら、現場が懐かしいと思います。北海道はこれから冬に向います。例年なら雪が降るまでのカウントダウンでバタバタしている所です。天気や季節の心配をしなくてよくなってほっとしている反面、ちょっぴり寂しい今日この頃です。
(北海道地区 秋元 ゆき子)

・このたび、初めて「輪」担当となりました箱田です。中村編集長におんぶにだっこしてもらっている状態で反省中。ちょっとずつ勉強させていただきま。みなさま、よろしくお願いたします。
(関東地区 箱田 裕子)

・朝晩涼しくなり、アイスノン無しでは眠れなかったあの暑さが嘘のようです。さて、今年の活動を振り返ると、参加して下さる方がとても貴重で、その方々が居るからこそ活動が続けられることを改めて感じています。今年の暑さのように、参加して下さる方が増えてくれればなぁと思いつつ、編集後記とします。
(中部地区 小畑 敏子)

・今年に関西地区で総会が開催され、これをきっかけに関西地区活動も活性化されました。記事も多くの方に書いていただけてうれしい限りです。個人的には10月からNPO法人ごみゼロネット大阪の事務局長になり、海遊館のすぐ近くの事務所で、大阪湾を眺めながら仕事をしています。
(関西地区 小林 千恵)

・編集長になって3年目、歴代の編集長に比較してあまりにもずぼらな自分に自己嫌悪になりつつ編集作業をしています。執筆いただいた会員の皆様にはもちろん大感謝ですが、今号は原稿依頼から校正まで地区編集員の協力も素晴らしく、とても濃い内容の「輪」になりました。総会はもちろん、地区活動の様子が参加されなかった方にも十分伝わると思います。
是非、ご意見をお聞かせください。
(編集長 中村 恭子)



「輪」への投稿・ご意見は編集担当 中村恭子 (qzf03233@nifty.com) へ、
その他のお問い合わせ、ご意見は、事務局まで、お願いします。

【事務局】

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-12
御茶ノ水センタービル3F
中日本建設コンサルタント株式会社
東京支社東京事務所技術部
笹尾圭哉子

輪(りん) 2007年総会特集号(第46号)

2007年10月10日発行
土木技術者女性の会
The Society of Women Civil Engineers